

連波仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

【作成】平成18年 6月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

<使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	16kg/缶	約 80~106 m ² /缶
	<u>ジョリパットシーラー JS-410</u>	<u>1液溶剤系 アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約 75~100 m²/缶</u>
	<u>セーフシーラー JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80~106 m²/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> (<u>ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ</u>) <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T□□□□</u> (<u>□…数字</u>) <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650△○○○</u> (<u>△…英字、○…数字</u>)	アクリル共重合樹脂 水性仕上り塗材	20kg/ ペール缶	約 5 m ² /缶
骨材	JF-1	寒水石(白竜)1 厘	20kg/袋入り	約 15 m ²

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20~25 m²/セット)

<主な施工道具>

- ・金ゴテ (剣先)

<下地調整>

下地は、モルタル金ゴテ押さえ (平滑) として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

<連波仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1' JS-410 の場合

<u>配 合</u>	<u>JS-410</u>	<u>15kg</u>
<u>塗 布 量</u>	<u>0.15~0.2kg/m²</u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

1" JS-800 の場合

<u>配 合</u>	<u>JS-800</u>	<u>16kg</u>
<u>塗 布 量</u>	<u>0.15~0.2kg/m²</u>	
<u>施工方法</u>	<u>ローラー刷毛又はスプレーガン</u>	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

- ・ JQ(W)-650 を無希釈で1.0kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布する。

夏期 4 時間以上

冬期 1 2 時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	<u>J Q (W) - 6 5 0 シリ-ズ</u>	2 0 k g
	寒水石 1 厘	1 0 k g
	清 水	1 . 5 リットル

塗 布 量 約 4 . 0 k g / m²

施工道具 金ゴテ

金ゴテにて均一に配り塗りする。

追いかけ (5 分以内)

4. パターン付け

- ・ 配り塗りした J Q (W) - 6 5 0 が乾燥しないうちに、コテ先に力を入れ、扇状にランダムにパターン付けする。(図-1、2)
- ・ 模様が規則正しくならないよう注意する。(図-3)

<施工のポイント>

- ・ 剣先ゴテの左先端部分に力を入れ、材料を剣先から絞り出すようにして、扇状にパターン付けを行う。(図-1)

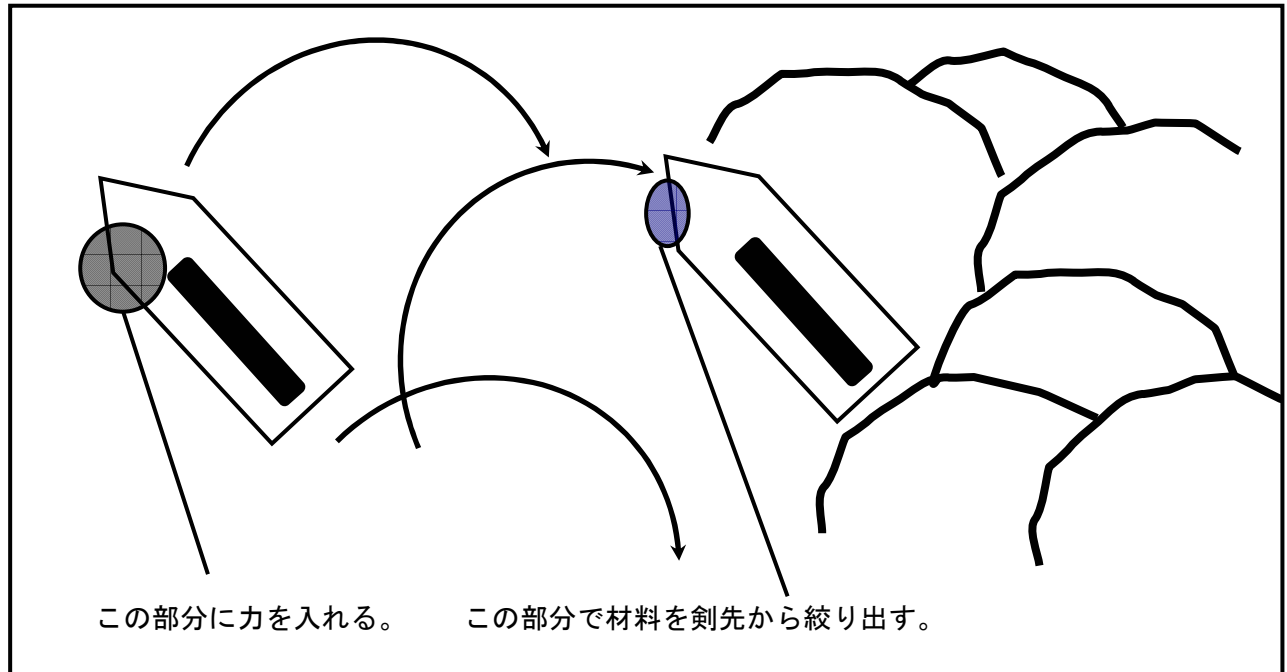


図 - 1

- ・ ランダムに下図の順番でパターン付けする。(図-2)

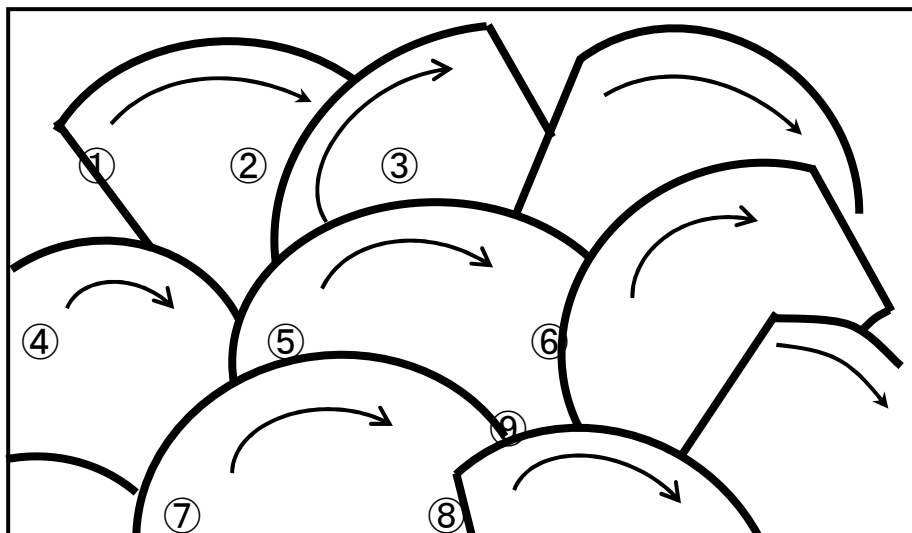


図 - 2

半径 10cm ぐらいの扇を描くようにランダムにパターンを付けます。

- ・ 扇模様が規則正しくそろわないよう注意する。(図-3)

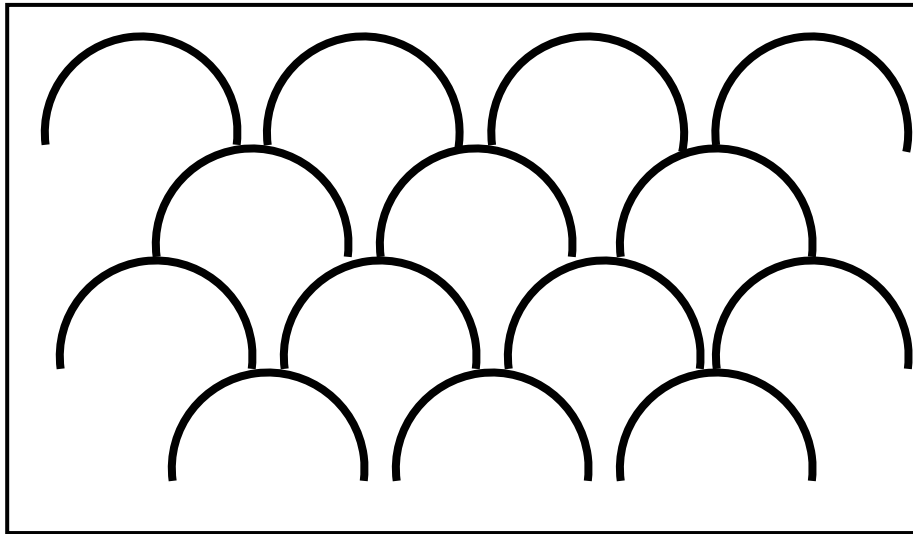


図 - 3

＜施工の注意事項＞

- ・ コテの大きさや形状によってパターンは多少異なります。
- ・ 何度もパターンの手直しをすると、JQ(W)-650が乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上